





**41 へっぴり坂** 旧跡

大楠山の芦名側登山道の中でもっとも傾斜の急な坂道に、「へっぴり坂」という名前がつけられています。ここを歩くときの光景が目に見え、浮き上がるような面白い名前です。

●バス停「大楠山名口」から徒歩20分

**42 経塚(きょうづか)** 旧跡

長井の高台にこんもり木の繁った小高い地があります。南北朝時代の後期にあたる永正13年(1516)、三浦道寸と北条早雲との戦いの際、道寸の家臣であった別覆坊(へっぴりぼう)が住庵を北条方に襲われ、逃げた時に経塚を埋めたともいわれています。

●バス停「ソレイユの丘」から徒歩6分

**43 念仏行者 願海(がんかい)の墓** 旧跡

東漸寺の本堂裏に願海上人の墓があります。願海上人は江戸時代の念仏行者で、太田和の専養院に寄宿したり、付近の願山に庵を結んだりしながら三浦半島に念仏を広めたといわれています。

●バス停「南武入口」から徒歩3分 東漸寺内

**44 武山不動院 持経寺(じきょうじ)** 旧跡

頂上からの眺めがすばらしい武山の山頂に武山不動院(持経寺)が建てられています。昔から地域の人々に信仰され、また武山が海上から船の位置を知るための目標になっていたことから、漁師からの信仰も厚いとされています。1月28日の初不動の縁日にぎわいは、横須賀風物百選にも選ばれています。

●バス停「一騎塚」から徒歩30分

**45 三浦富士とおたきあげ** 旧跡

武山丘陵に連なるこの山は、通称「ふじやま」と呼ばれ、古くから富士信仰と結びついています。毎年7月8日には早朝から山頂でおたきあげがあり、商売繁盛、大漁、無病息災などを願う加持祈禱が行われます。

●バス停「浅間神社」から徒歩15分

**46 みかん園** 風物

京急津久井浜駅から三浦富士へ向かうハイキングコースをたどると、のどかなみかん園の風景が広がります。津久井浜観光農園では、春はいちご、じゃがいも、夏はメロン、秋にはさつまいも堀りや、みかん狩りが楽しめます(046-849-4506)。

●京急津久井浜駅から徒歩20分

**47 津久井次郎の墓** 旧跡

東光寺は行基が開基とされる古刹(こさつ)で、寺の裏に津久井一族の墓があり、中央が津久井次郎義行の墓といわれています。津久井次郎は、三浦義明の弟で、この辺りを所領したとされています。

●京急津久井浜駅から徒歩20分

**48 万代会館** 旧跡

ソニーの会長であった万代順四郎氏が職を辞した後、病気の妻の保養のためにこの地に住みました。後にその住居は横須賀市に寄贈され、現在は万代会館として一般に開放し、お花、お茶、和裁などの文化活動に広く利用されています。

●京急津久井浜駅から徒歩5分

**49 長岡半太郎記念館・若山牧水資料館** 旧跡

長岡半太郎博士は明治、大正、昭和の物理学の先覚者として功績を残し、文化勲章を受章しました。その後横須賀に移り住み、亡くなるまで使用していた家跡に現在の記念館がつけられました。歌人として名高い若山牧水の資料館も併設されています。

●京急長沢駅から徒歩9分

**50 若山牧水歌碑・若山牧水夫婦歌碑** 文学碑

「漂泊の歌人」といわれた明治・大正の歌人若山牧水は、妻の療養のため東京から横須賀に移り住み、約2年のあいだ北下浦の自然の中での作歌活動にふけりました。長沢橋近くの海岸に面して、若山牧水の歌碑と若山牧水夫婦の歌碑が並んで建てられています。

●京急長沢駅から徒歩9分

**51 かるうと山古墳** 文化財

バス停を降りて光の丘トンネルに向かうと、トンネル手前に光の丘公園の案内板があり、そこから山道に入ると、頂上付近に「かるうと山古墳」の案内板があります。「かるうと」とは石室(石造りの部屋)のことで、奈良時代の豪族の墳墓と推測され、直刀、つかなど多数が出土しており、平成20年に市指定史跡となりました。

●バス停「光の丘5番」から徒歩12分